※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ「Tutti＋」　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「音楽Ⅰ」では、生涯にわたって主体的に音楽を愛好していこうとする心情の育成を重視したい。そのためには生徒一人一人が個性を生かして音楽の幅広い活動を行い、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、そこに価値を見いだすことのできる感性を高めていくことが重要である。また、中学校音楽科の学習を踏まえ、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を深化させていく。

２　学習の到達目標

・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景などとの関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。	【歌唱・器楽・創作】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫している。 【鑑賞】 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！～出会いのうた～	【歌唱】 校歌 翼をください 上を向いて歩こう	a：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c：歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	観察	ワークシート
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 クラッピングカルテット 第１番	a:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取		ワークシート
		【創作】 クラッピングアンサンブルをつくろう	b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。		観察	
	鑑賞のファーストステップ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 バレエ音楽 ボレロ(ラヴェル)	a：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c：管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察		ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	日本語の美しい語感を生かして表現しよう	少年時代	a:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b:「少年時代」のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:「少年時代」の曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	観察	ワークシート
	ARに挑戦	【器楽】 涙そうそう	a:AR の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:AR の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	演奏の聴取	観察	ワークシート
	日本の心を感じ取ろう	「民謡の特徴1」	c:我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。			ワークシート
三学期	ハーモニーを味わおう	風になりたい	a: 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱や器楽の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、合奏合唱をする学習に主体的に取り組もうとしている。	演奏の聴取	観察	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度